



ADRC Highlights

Vol.39

Asian Disaster Reduction Center Biweekly News

Page 1
January 16, 2002

新年あけましておめでとうございます。

所長 西川 智

1月1日付けで所長に任命されました。皆様の御指導、御協力をいただきながら、これまでのADRCの活動をさらに発展させ、アジアの災害被害の軽減に貢献できるよう所員一同努力してまいります。



ADRCが阪神・淡路大震災があったこの地に設立されて3年余、防災に関する情報提供、国際協力モデルプロジェクト、人材育成さらにはGISを応用したVENTENシステムの開発など防災分野での新機軸の端緒を開くよう努力してまいりました。防災はさまざまな分野の知識や技術の融合が必要です。また、アジア各国にはこれまでの災害の苦

い経験から編み出されたノウハウが蓄積されています。アジア防災センターは、神戸東部新都心に立地している関係機関とも緊密な連携を図りながら、これらの知見や技術の融合と交換の場、情報発信の拠点として、さらに役割を果たして参ります。本年もADRCの活動への御支援よろしくお願いたします。



アジア防災センタースタッフ

➤ ADRCメンバー国カウンターパート紹介 第1回

アジア防災センターは、23のメンバー国および4つのアドバイザー国と1つのオブザーバ機関によって構成されています。今号よりシリーズで各メンバー国のカウンターパート機関の紹介をしていきます。第1回は日本の内閣府についての紹介です。

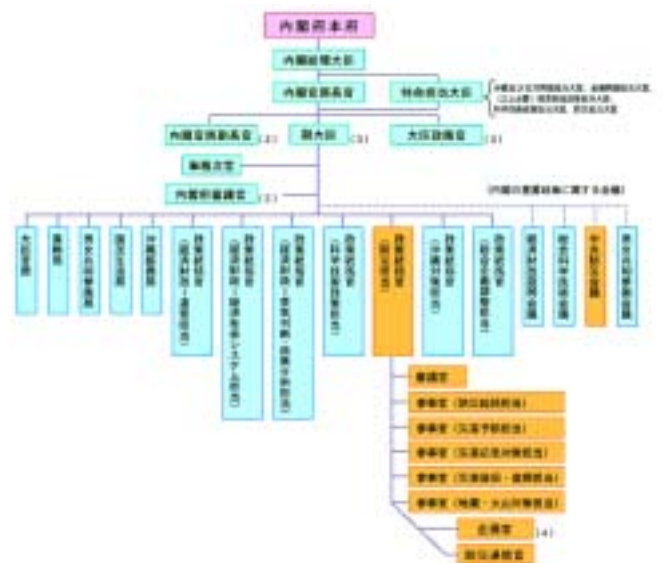
□ 日本—内閣府

日本政府は、内閣機能の強化を最大の狙いとし、2001年1月6日中央省庁の再編成を行いました。首相の直属の機関として内閣府が設置され、内閣や首相を補佐・支援する機能の強化がはかられました。

内閣府の重要政策に関する企画立案、包括的調整機能が十分に発揮できるように、災害対策担当大臣など特定の調整事務を担当する特命担当大臣のポストを新設しました。これらの大臣が、複数の関係省庁間の横断的な調整機能を果たすとともに、内閣総理大臣または官房長官を議長とし、関係大臣と有識者から構成される4つの重要政策に関する会議が設置されています。この4つのうちの1つとして中央防災会議があります。

内閣府には、内閣府の最も重要な政策策定会議のひとつとして中央防災会議が置かれるとともに、首相の指揮の下、内閣府の防災を担当する政策統括官が災害対策の企画立案、総合調整を行っています。内閣府はまた、国連の国際防災戦略 (ISDR)

やアジア防災センター (ADRC) の活動を通じて、国際防災協力も活発に推進しています。



内閣府組織図



ADRC Highlights

Vol.39

Asian Disaster Reduction Center Biweekly News

Page 2
January 16, 2002

- **第34回 ESCAP-WMO 台風委員会に参加**
- **ISDR活動への参加をよびかけ**



昨年 11 月 28 日から 12 月 4 日まで ESCAP-WMO 台風委員会の第 34 回年次総会がアメリカ国家気象局がホスト役となりホノルルで開催されました。

今回の会議では、気象部門、水文部門、防災部門の 3 分野について討議が行われることとなったため、国連 ISDR（国際防災戦略）事務局の依頼を受けてアジア防災センターが ISDR の周知と台風委員会の ISDR 活動への参加を呼びかけるために出席いたしました。

会議では、台風委員会の 2002 年～2006 年の地域協力計画についても討議され、その中で、アジア防災センターが台風委員会メンバー各国の防災についてのウェブサイトのクリアリングハウスとなること、防災に関するさまざまな研修についての情報を提供することが決定されました。

- **ADRC のホームページを更新**
- **より見やすく、使いやすいホームページを提供します。**

本日より当センターのホームページが新しくなりました。「ユーザーに利用しやすいこと」をテーマに、大きく以下の改修を行いました。

1. 最新災害情報、阪神淡路大震災データベース、NPO 法人災害情報センターデータベース等 ADRC サイト内データベースを検索すると同時に外部 web の検索も行う強力な検索システムを導入しました。



2. 防災担当実務者、研究者、一般などユーザー別にカスタマイズしたメニューによって、より利用しやすくなりました。

3. 使いやすさに配慮した、クリックブルマップの採用やメニュー階層の表示を行い、容易に情報にアクセスできるようにしました。



4. 疲れにくさに配慮した画面レイアウトに変更しました。
5. 回線容量に配慮した、画像主体ページとテキストページによる二重構成を提供します。

なお、5 については 3 月末に提供開始予定です。これからもユーザーにとって使いやすいホームページを目指していきます。どうぞ皆様、新しくなった ADRC のホームページへアクセスしてください。ご意見ご質問ご要望お待ちしております。

(主任研究員 荒木田 勝)

- **会議開催のお知らせ**
- **Symposium on Best Practices in Humanitarian Information Exchange**

国連人道問題調整事務所（OCHA）は標記のシンポジウムをスイスのジュネーブで 2 月 5 日から 8 日に開催します。詳しい情報は、<http://www.reliefweb.int/symposium/concept.htm> をご覧ください。

- **アジアにおける最新災害情報**
- **タジキスタンで地震による被害**

1 月 9 日 11 時 45 分(現地時間)、タジキスタンの首都ドュシャンベから東へおよそ 100km の町 Rogun 付近において、マグニチュード 5.3 の地震が発生しました。

地震による被害が最も大きかったのは、Taghi Akbar と Talkhan Chashma の二つの町で、3 名が死亡し、6 名が負傷しました。また 9 割以上の家屋で、全壊または修理の必要とされる被害が報告されています。

(1/11 国連人道問題調整事務所 Situation Report など)

- **ロシア南部で大きな洪水被害**

ロシア南部では、豪雪が続いていましたが、その後気温が上昇し暖かい天候が続いたため、川の堤防が決壊し、洪水が引き起こされました。数千人が避難を余儀なくされ、堤防に沿った地域のいくつかの村では、数百件の建物が浸水被害を受けたと報告されています。

(1/10 BBC ニュースなど)

ご意見・ご要望等があれば
右記までご連絡ください。

編集・発行：Asian Disaster Reduction Center(アジア防災センター)

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通 1-5-1 IHDビル3F

E-mail: editor@adrc.or.jp TEL: 078(230)0346 FAX: 078(230)0347

誌代・送料： 無料 / 毎月 2 回発行 (予定)